

環境未来都市・環境モデル都市（30 都市）対象

SDGs・「環境未来都市」構想に関するアンケート （概要）

平成 29 年 10 月

内閣府地方創生推進事務局

調査実施要領

1. 調査目的・内容

内閣府地方創生推進事務局では、「自治体SDGs推進のための有識者検討会」を設置し、環境未来都市及び環境モデル都市等における先進的な取組実績等を活用し、かつ自治体においてSDGsを推進し、持続可能なまちづくりを進めていくことを検討している。

平成29年7月27日の自治体SDGs推進のための有識者検討会(第3回)の資料6「第1、2回検討会における委員の意見取りまとめ(コンセプト中間取りまとめ(たたき台))」の内容に関して、アンケートを行い、今後の検討会での議論に活用することを目的とする。

2. 実施府省

内閣府(地方創生推進事務局)

3. 調査対象

環境未来都市及び環境モデル都市 (30 都市)

・環境未来都市 11 都市

・環境モデル都市 23 都市

※ ただし、環境未来都市の中の4都市は、環境モデル都市でもあるため、調査対象都市は30都市とする

4. 調査時期

平成29年8月14日～8月28日

5. 調査方法

電子メールによる回答

6. 回収結果

(1) 回答数(率) 27 都市(90.0%)

(2) 未回答数(率) 3 都市(10.0%)

本アンケートの構成は、自治体SDGs推進のための有識者検討会（第3回）の資料6「第1、2回検討会における委員の意見取りまとめ（コンセプト中間取りまとめ（たたき台）」をもとに、項目ごとに下記の設問を設けている。

第1、2回検討会における委員の意見取りまとめ （コンセプト中間取りまとめ（たたき台））

<目次>

I はじめに

⇒設問 該当なし

II 「環境未来都市」構想について

【環境未来都市の皆様】

1. 「環境未来都市」構想のこれまでの成果と今後の課題

⇒設問(1)、(2)、(2)－1、(2)－2、(2)－3、(2)－4

2. その成果は、自治体SDGs推進にあたって、どのように活用できるか

⇒設問(1)、(1)－1、(1)－2、(1)－3、(1)－4、(1)－5、(2)

【環境モデル都市の皆様】

1. 「環境未来都市」構想のこれまでの成果と今後の課題

⇒設問(1)、(1)－1、(1)－2、(2)

2. その成果は、自治体SDGs推進にあたって、どのように活用できるか

⇒設問(1)、(1)－1、(1)－2、(1)－3、(1)－4

III 地方創生における自治体SDGs推進の意義：自治体や市民、民間企業等からの視点

1. 自治体としてSDGs推進に取り組む意義、メリットとは何か

⇒設問(1)、(2)、(3)、(4)、(5)、(6)

2. 市民や様々なステークホルダーから見て、自治体に期待する役割（自治体ならではの強み）は何か

⇒設問(1)、(2)、(3)、(4)、(5)、(6)

3. 自治体がSDGs推進のために取り組むべき事項とは何か

⇒設問(1)、(2)、(3)、(4)、(5)、(6)

IV 政府の役割

1. 政府として、地方自治体に期待する役割をどのように考えるべきか

⇒設問(1)

2. 自治体SDGs推進のための、政府として取り組むべき事項（施策の基本的方向）とは何か

⇒設問(1)、(2)、(3)、(4)

SDGs・「環境未来都市」構想に関するアンケート

「Ⅱ 「環境未来都市」構想について」【環境未来都市の皆様】

2 「1. 「環境未来都市」構想のこれまでの成果と今後の課題」

- 4 (1) 「環境未来都市」構想においては、下図のコンセプトに基づき、全国から厳選された都市
6 において、政府による戦略的な支援を実施してきました。このコンセプトについて、
貴自治体における施策の推進にどのように寄与したと思いますか。
具体的に記述してください。

8 <回答傾向>

- 10 ○被災地を含む多くの都市において、分野横断的な推進体制の構築や取組の推進に寄与したとい
12 える。
○被災地においては、環境未来都市計画と復興計画がリンクしたことで、復旧復興に留まらない、先
進的なまちづくりにつながったといえる。

14

- 16 (2) 「環境未来都市」構想の課題について、「自治体SDGs推進のための有識者検討会」で
は以下の(2)－1～(2)－3の指摘がなされています。
このことについて、貴自治体ではどのように思いますか。
18 (2)－1 「どのように地域を活性化するかという「持続可能な開発」の目標の見える化を一層
20 進めることが必要である。」としていますが、どのようにしたら、これが実現できるか、
具体的に記述してください。

22 <回答傾向>

- 24 ○各地域の実情がそれぞれに異なることから、統一の指標(SDGsの指標を含む)を設定するより
は、地域特性を考慮した指標が必要と考えている。
○また、目標・指標の設定・見える化については、その必要性を複数の都市が指摘している。

26

- 28 (2)－2 「地域資源を結びつけて動かし、課題を解決するという手法(How)、いわゆる社会的技術
30 の見える化が重要である。」としていますが、どのようにしたら、これが実現できるか、
具体的に記述してください。

32 <回答傾向>

- 34 ○成功事例、先進事例について、その背景や特徴、プロセスまでを含めて分析し、公表していくこと
が必要だと、多くの都市が考えている。
○また、その手法として、成果を共有することにインセンティブを与えること、地方ブロックごとに場を
36 設定することなどがあげられている。

38

2 (2)－3 「全国自治体を巻き込んだ取組の更なる拡大が必要である。」としていますが、
3 どのようにしたら、これが実現できるか、具体的に記述してください。

4 <回答傾向>

5 ○複数の都市に共通しているのは、成功事例を有する都市から、直接学ぶことのできる機会の創出
6 が必要だということである。このための手法として、

- 7 ・「環境未来都市」構想推進協議会の活用 ・地方ブロックごとの勉強会
- 8 ・インセンティブの付与 等があげられている。

10 (2)－4 その他、上記以外に課題だとお考えの点がございましたら、自由にご記入ください。

12 <回答例>

13 ○「環境未来都市」の市民の認知度を高めることが重要であり、普及啓発活動を促進すべき。

16 「2. その成果は、自治体SDGs推進にあたって、どのように活用できるか」

18 (1) 「環境未来都市」構想においては、自治体の先駆的取組を支援するため、様々な施策を
19 活用しモデル事業の創出に努め、これを国際フォーラム等により全世界へ普及展開を
20 図ってきました。この取組について、貴自治体における施策の推進にどのように寄与したと
21 思いますか。それぞれ具体的に記述してください。

22 (1)－1 政府の都市選定によるブランディング向上

24 <回答傾向>

25 ○多くの都市において、都市のブランドやプレゼンスの向上に寄与したといえる。

26 ○これによる効果として、民間企業等との連携の促進や、国際的機関からの評価などがあげられて
27 いる。また、市民意識の向上についても、複数の都市において効果があったといえる。

30 (1)－2 政府によるフォローアップ支援

32 <回答傾向>

33 ○多くの都市において、有識者からの助言等により、良質な計画策定、取組の改善につながったと
34 いう。具体的には、

- 35 ・客観的評価を得ることができた ・住民の意識向上につながった
- 36 ・福祉施策の推進につながった 等である。

38 (1)－3 政府による財政支援

<回答傾向>

- 2 ○既存の各省庁支援制度の対象とならなかった事業について財政支援が行われたことは、事業着手や事業の多面化を促し、各都市の先進的取組の推進に寄与したといえる。

4

- 6 (1)ー4 普及展開(国際フォーラム、「環境未来都市」構想推進協議会活動等)

8 <回答傾向>

- 多くの都市において、他都市の先進事例を知ることが、自分達の取組の参考になるといえる。
10 ○また、複数の都市では、都市間のネットワーキングにも効果を感じており、具体的な取組(連携協定の締結等)につなげている事例もある。

12

- 14 (1)ー5 その他、上記以外に貴自治体の施策の推進に寄与した取組がございましたら、自由にご記入ください。

16

<回答例>

- 18 ○環境未来都市有志で行った実務者会合で、自治体がSDGsに取り組む意義等を共有できた。

20

- (2) 「環境未来都市」構想の各都市においては、都市経営の進捗管理を確実にするためのガバナンス手法を実践してきました。この取組について、貴自治体における施策の推進にどのように寄与したと思いますか。具体的に記述してください。

24

<回答傾向>

- 26 ○多くの都市において、定量的な取組評価が取組に寄与したといえる。
○各取組の進捗状況が見える化、共有化されたことが基本であるが、他に、
28 ・定量的な評価指標の確認により、自分事として認識された
・組織内の横連携につながった
30 ・計画策定時点との状況の変化が客観的に見えた 等の効果があげられている。

32

「Ⅱ 「環境未来都市」構想について」【環境モデル都市の皆様】

- 34 「1. 「環境未来都市」構想のこれまでの成果と今後の課題」

- (1) 環境モデル都市は、今後我が国が目指すべき低炭素社会の姿を具体的にわかりやすく示すため、全国から厳選された都市において、政府による支援を実施してきました。この取組について、貴自治体における施策の推進にどのように寄与したと思いますか。

- 38 (1)ー1 環境モデル都市の目的として、「地球温暖化問題にかかる諸問題の統合的アプローチの提示」としてはありますが、これに取り組んだことが、貴自治体における施策の推進にどのように寄与したと思いますか。

40

<回答傾向>

- 2 ○多くの都市において、施策の推進に寄与したといえるが、その内容はそれぞれ異なっている。
具体的には、
- 4 ・経済など、他の行政課題と環境施策の統合
・分野横断的な施策の推進
- 6 ・行政、市民、事業者などの多様なステークホルダーの連携
・地域資源の活用
- 8 ・明確な数値目標の設定による、課題、取組の見える化
・住民意識の向上 等について、複数の都市からあげられている。

10

- 12 (1)－2 環境モデル都市の目的として、「低炭素社会における都市・地域の活力の創出」
14 としていますが、これに取り組んだことが、貴自治体における施策の推進にどのよう
に寄与したと思いますか。

16 <回答傾向>

- 複数の都市において、エネルギー関連のコスト削減により、地域活性化につながったといえる。
- 18 ○住民意識の向上、住民、事業者と連携した取組の実現などについて、複数の都市において効果が
あったといえる。
- 20 ○環境の視点から、都市のブランド力、競争力が向上することで、視察や会議誘致の数が増加した
という都市も複数ある。

22

- 24 (2) 上記の取組を貴自治体において進めるにあたり、どのような点が課題となりましたか。
また、その課題をどのように解決しましたか。自由にご記入ください。

26

<回答傾向>

- 28 ○各都市の状況に応じて、様々な課題があげられたが、多くの都市においては、温暖化対策の施策
に対する、特に住民の理解を課題としてあげている。複数の都市はその要因として、取組成果に
30 ついての更なる可視化等をあげており、これを解決するための取組として、多くの都市が地道な普
及啓発に取り組んでいる。

32

- 34 「2. その成果は、自治体SDGs推進にあたって、どのように活用できるか」

- (1) 国は、環境モデル都市のアクションプランの実施に向けて、環境モデル都市推進関係
36 省庁連絡会議を活用し、新たな制度的枠組みの構築の検討を含め、総合的な支援を行
うとともに、取組を国内外に波及させるため、施策の展開や情報の発信に努めてきました。
38 この取組について、貴自治体における施策の推進にどのように寄与したと思いますか。
それぞれ具体的にご記入ください。

- 40 (1)－1 政府の都市選定によるブランディング向上

2 <回答傾向>

- 2 ○多くの都市において、都市のブランドやプレゼンスの向上に寄与したといえる。
○この効果として、民間企業等との連携の促進や、国際的機関からの評価、交流人口の増加などが
4 あげられている。また、市民意識の向上についても、複数の都市において効果があったといえる。

6

(1)－2 政府によるフォローアップ支援

8

<回答傾向>

- 10 ○複数の都市においては、有識者からの助言等により、取組の改善につながったといえる。
具体的には、
12 ・客観的評価を得ることができた
・課題が明確化された
14 ・住民の意識向上につながった 等。

16

(1)－3 政府による普及展開(国際フォーラム、「環境未来都市」構想推進協議会活動等)

18

<回答傾向>

- 20 ○多くの都市において、他都市の先進事例を知ることが、自分達の取組の参考になるといえる。
○複数の都市では、都市間のネットワークキングにも効果を感じており、具体的な取組(連携協定の締
22 結等)につなげている事例もある。

24

(1)－4 その他、上記以外に貴自治体の施策の推進に寄与した取組がございましたら、自由にご記入ください。

26

28 <回答例>

- 環境モデル都市に選定されたことで、国内・海外からの視察が大幅に増加し、取組みの普及につ
30 ながった。
○市単独では出展が難しい展示会等へも内閣府からのブース出展があることにより、財政的な負担
32 なしにPRの機会を得ることができた。
○環境モデル都市への応募を機に、地球温暖化対策に対する庁内の機運が格段に上がり、温暖化
34 対策部局の創設につながった。
○また、地球温暖化対策に市民、事業者と一団となって取り組むきっかけにもなり、本市の地球温暖
36 化対策の推進に大きく寄与した。
○広報に係る予算が少ない中で、HP やパンフレットなど、精度の高い啓発物を内閣府に作成いただ
38 いたことで、本市内での啓発にも活用することができた。
○災害発生時における環境モデル都市及び環境未来都市の自治体間連携により、財政面や人材面
40 の支援があった。

「Ⅲ 地方創生における自治体SDGs推進の意義:自治体や市民、民間企業等からの視点」

- 2 「1. 自治体としてSDGs推進に取り組む意義、メリットとは何か」では、「自治体は、SDGs推進に
4 取り組むことにより、持続可能な開発を通して、自治体の活性化を図り、地方創生に
6 つなげていくことができる。」としています。この課題について、以下の質問にお答えください。
「(1) 地方創生とSDGs推進の基本的考え方」について、どのように思いますか。
具体的に記述してください。

8 <回答傾向>

○多くの都市においては以下のとおり捉えている。

- 10 ・民間企業、市民等のステークホルダーとの連携を促す。
12 ・地域の強みと弱みを客観的に分析できる。
12 ・世界の共通言語の観点から、国内外への発信力が向上する。

○他方、一部の都市においては、以下の点において注目しているところがある。

- 14 ・総合計画やまち・ひと・しごと総合戦略など、類似の計画へのSDGsの要素の反映。
16 ・多くのステークホルダーとの共通言語として活用され方。

18

20 「(2) 「ひと」の流れと活気を生み出す持続可能なまちづくりの実現」について、どのようにし
たら実現できると思いますか。具体的に記述してください。

22 <回答傾向>

○多くの都市から具体的な提案があり、各都市それぞれの特性や実情に応じた取組によって、SDG
24 sを達成していくことで持続可能なまちづくりの実現につなげていくと考えている。

26

28 「(3) 魅力あるまちづくりの推進への貢献」について、どのようにしたら実現することができる
と思いますか。具体的に記入してください。

30 <回答傾向>

○多くの都市において、SDGsという世界共通のものさしで客観的に分析することに効果があると捉
32 えている。

具体的には、

- 34 ・強み、弱みの客観的な把握
34 ・地域の魅力の再発見、再認識
36 ・国内外の都市との比較 等である。

38

40 「(4) 経済・社会・環境政策の統合による相乗効果の創出」について、どのようにしたら実現
できると思いますか。具体的に記入してください。

2 <回答傾向>

- 多くの都市において、政策間の連携、多様なステークホルダー間の連携が必要だと捉えている。
- 4 ○また、複数の都市においては、そのコーディネーター役を行政が担うべきだと考えている。他方、新たな役割を担う行政の負担軽減のため、法令事務の軽減や規制改革など、思い切った行政改革の必要性も示されている。
- 6 ○一部の都市においては、総合計画やまち・ひと・しごと総合戦略等の既存の計画との融合が必要だと考えている。
- 8

10 「(5) ステークホルダーとの連携とパートナーシップの強化」について、どのようにしたら実現できると思いますか。具体的に記述してください。

12

<回答傾向>

- 14 ○多くの都市において、多様なステークホルダーが参画できる「場」と、それらのマッチングをコーディネートする「人材」が必要だと捉えている。
- 16 ○また、複数の都市においては、連携するメリットの見える化、Win-Winの仕組みの構築、が必要であると捉えている。

18

20 「(6) SDGs達成への取組を通じた、自律的好循環の創出」について、どのようにしたら実現できると思いますか。具体的に記述してください。

22

<回答傾向>

- 24 ○多くの都市にておいて、成功・失敗双方の事例を共有し、ノウハウを蓄積したうえで、新規施策へ展開させていくことが重要だと捉えている。
- 26 ○また、複数の都市において、既存の計画・取組について、SDGsの観点から再整理し、成果を見える化することが有効と捉えている。

28

30 「2. 住民や様々なステークホルダーから見て、自治体に期待する役割(自治体ならではの強み)は何か」では、「SDGsを自治体で推進するためには、住民や民間事業者等の広範で多様なステークホルダーが様々な垣根を越えた形で連携することが不可欠である。自治体には、自治体ならではの強みを活かし、市民やステークホルダーの期待に応えることが求められる。」としています。この課題について、以下の質問にお答え下さい。

32

34

36 「(1) 国との調整力の発揮」について、どのようなことが自治体に期待されると思いますか。具体的に記述してください。

38 <回答傾向>

- 多様なステークホルダーとの連携するために、様々な参加、多くの意見を促すためのプラットフォームの構築を考案している。
- 40

2 ○多くの都市において、共通課題を持つ他自治体、住民、企業等と連携し、単独では解決することが
できない課題について国に要望・提案を行うことが期待されるとの認識がある。

4

6 「(2) 自治体連携・多様なステークホルダーの積極的な参画促進」について、どのようなことが
自治体に期待されると思いますか。具体的に記述してください。

8 <回答傾向>

- 複数の自治体は、ステークホルダーの交流の場の創出が求められると考えている。
- 10 ○広域での連携を可能にするためのステークホルダーのマッチングや支援も思案している。
- また多くの自治体が、広域の自治体の参加による会議体を形成し、課題について連携・協働する
12 ことが期待されると考えている。

14

16 「(3) 地方創生における持続可能な観点での取組事例の実績やノウハウの活用」について、
どのようなことが自治体に期待されると思いますか。具体的に記述してください。

18 <回答傾向>

- フォーラムや会議等の場での情報の交換、ウェブサイト上による情報の提供、収集を通じ、地域で
20 の取組が活性化されることが期待されると考えている。
- 首長やそれぞれの地域のキーパーソンが、地方創生やまちづくりについて表現できるようになるこ
22 とが期待されていると勘考されている。

24

26 「(4) 市民生活・経済活動の拠点となる場の創出」について、どのようなことが自治体に期待
されていると思いますか。具体的に記述してください。

28 <回答傾向>

- 活動拠点整備、広報等が軌道に乗るまでの側面支援やステークホルダー支援が期待されると考
30 えている都市が見られる。
- 他方、一過性のもではなく、継続的に活動や交流を生み出すことが可能な仕組みづくりが期待さ
32 れると考えている自治体も複数ある。
- 行政の運営に限らず企業等による多角的なバックアップによるもの、既存施設や空き家、またIoT
34 を活用したもの等が期待されると考えている。

36

38 「(5) 意欲的かつ革新的なアイデアを創出する拠点づくりの牽引役」について、どのようなことが
自治体に期待されていると思いますか。具体的に記述してください。

40

2 <回答傾向>

- 2 ○拠点づくりの牽引役として、自治体以外に企業等が考えられる。よって、それぞれが連携し、多様なステークホルダーに対してサポーター的役割を期待されていると考えられている。
- 4 ○持続可能な地域づくりにおいて住民や民間側のキーパーソンが必要であるから、業種や立場を超えた人材育成が期待されていると考えられている。

6

8

10 「(6)地域の取組を国内外へ発信」について、どのようなことが自治体に期待されていると思いますか。具体的に記述してください。

12 <回答傾向>

- 14 ○「環境未来都市」構想とその取組を入り口として移住や企業連携につながった事例があるため、課題解決に向けた効果的な発信が期待されると考えられている。
- 16 ○他方、外国語による表現力不足などから、海外への発信については、課題があると回答する自治体も複数ある。

18

20 「3. 自治体がSDGs推進のために取り組むべき事項とは何か」では、自治体がSDGs推進のために取り組むべき事項として以下の(1)～(5)を挙げています。このことについて、どのように思いますか。それぞれ具体的に記入してください。

- 22 「(1)見える化」について、どのような取組を行うべきだと思いますか。また、それに向けたバリア(障壁)はありますか。具体的に記述してください。

24

26 <回答傾向>

- 26 ○SDGsの指標を活用して、課題の見える化や定量的な目標設定を行うべき。
- 28 ○見える化(地域の現状・実態を定量的に把握)のための、人材、予算の確保が難しい。
- 28 ○SDGsの指標に即した統計資料が入手できるかが課題である。

30

32 「(2)体制づくり」について、どのような取組を行うべきだと思いますか。また、それに向けたバリアはありますか。具体的に記述してください。

34 <回答傾向>

- 36 ○多様なステークホルダーと情報を共有する場が必要である。
- 36 ○庁内のSDGsの推進体制の整備と分野横断の部局間連携構築が必要である。
- 38 ○SDGsに対する理解度の低さがバリアである。

40

「(3)各種計画の策定・改定」について、どのような取組を行うべきだと思いますか。

2 また、それに向けたバリアはありますか。具体的に記述してください。

4 <回答傾向>

6 ○SDGsだけの推進計画を立てるのではなく、既存の計画の策定・改定時にSDGsの要素を盛り込むべき。

8 ○SDGsを各種計画に織り込んだとしても、その実効性を持たせるためには、部局横断型の組織ガバナンスが求められる。

10

「(4)地域間の広域連携」について、どのような取組を行うべきだと思いますか。

12 また、それに向けたバリアはありますか。具体的に記述してください。

14 <回答傾向>

16 ○単一の自治体のみで解決できない問題への対応や、財政面での効率化が見込める連携(広域事務組合等)は、推進していくべき。

18

「(5)情報収集と発信」について、どのような取組を行うべきだと思いますか。

20 また、それに向けたバリアはありますか。具体的に記述してください。

22 <回答傾向>

24 ○国際フォーラム・国際機関におけるセミナーなどの既存の場を活用して情報収集や発信を行っていきたい。

26 ○汎用性が高い事業等の情報は国が一括して情報発信することが必要である。

28 (6) 上記の(1)～(5)について、貴自治体において、すでに実施している取組、または将来的に実施する予定のある取組がございましたら、概要をご記入願います。

30

<回答傾向>

32 (すでに実施している取組)

○フォーラム、ワークショップの開催

34 (将来実施する予定のある取組)

○各種計画の改定時にSDGsの要素を織り込む

36

38

「Ⅳ 政府の役割」

2 「1 政府は、自治体が果たすべき役割をどのように考えるべきか」では、政府が自治体に対して期待する役割等を記述しています。

4 (1)このことについて、どのように思いますか。具体的に記述してください。

6 <回答傾向>

8 ○政府が自治体に対して、様々な役割を期待するのは理解でき、自治体も最大限に努力すべきと視ている。

10 ○他方、複数の自治体が、国と連携し取組を推進していくためには、国と自治体・ステークホルダーの役割分担も明らかにすることが必要と考えている。

12

14 「2 自治体SDGs推進のための、政府として取り組むべき事項(施策の基本的方向)とは何か」では、政府による具体的取組として以下の(1)～(2)を挙げています。このことについて、どのように思いますか。それぞれ具体的に記入してください。

16 「(1)政府としての普及促進活動の展開」について、どのようなことを政府に期待しますか。具体的に記述してください。

18

<回答傾向>

20 ○多数の自治体において、政府の積極的な普及促進活動等によりSDGsの認知度を上げることが期待されている。

22 ○フォーラムなど多様なステークホルダーが集う場の提供を期待する自治体が多い。その中には、中央での開催には参加が難しいため、県や広域レベルでの小規模開催を希望する声もある。

26

28 「(2)自治体のSDGs達成のためモデル事例「地方創生SDGs未来都市(仮称)」の形成」について、どのようなことを政府に期待しますか。具体的に記述してください。

30 <回答傾向>

32 ○多くの自治体が、財政支援等のインセンティブを期待しており、中には単発的ではなく、複数年度での支援を期待する声もある。

34 ○有識者の具体的な助言を得る場の提供やアドバイザーの派遣等の支援への期待も見られる。

36 (3)SDGsにおける17のゴールいずれかの達成につながる地方創生に資する先導的な取組(モデル事業)について、すでに着手した、または検討中の事業がございましたら、概要をご記入ください。

40 ※現時点における実現可能性や取組分野は問いません。モデル事業のポンチ絵、参考資料等がございましたら、ご提供願います。

2 ※回答内容は、各自治体の個別事業のため記載は省略

4

(4) その他、自治体SDGsの推進に関する全般的なご意見、ご要望等がございましたら、自由にご記入ください。
(政府に対する要望や、その他のステークホルダーに対する要望等)

8

<回答傾向>

- 10 ○国内外への普及展開については、国の支援が重要であり、推進に当たっては自治体と国との役割に明確化が必要と考えている。
- 12 ○SDGsを推進することによるメリットを明確に感じられる積極的な財政支援・人的支援・情報支援を期待している。

14